

事業番号	10 03 02	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業 （森林づくり県民税活用事業）				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進				課・室	信州の木活用課県産材利用推進	
	施策の総合的展開					E-mail	mokusai@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	木材の持つ炭素固定といった環境貢献効果を数値化、客観証明することで、建築物等への県産材利用を増進し、森林・林業・木材産業の振興を推進する。 成果目標：県産材の製材品出荷量 現状(H21) 120千m ³ → 目標(H29) 184千m ³		
現状	<p>○COP18により、世界的にも木材の炭素固定効果が評価されることになった。</p> <p>○一方、住宅着工戸数が減少している影響もあり、製材品の出荷量は減少傾向にある。</p> <p>○森林が吸収した二酸化炭素を、木材を長期利用することで固定化できることから、地球温暖化防止としての面からも木材利用の拡大が求められている。</p>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 長野県森林づくり県民税活用事業	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○制度の普及を図るため、個人住宅、企業等の木質化で固定するCO2の量：前年度の500t-CO2を目指す。					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績			
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)	
審査委員会運営費	直接	・認証制度審査委員会の開催(年4回)		264	171	264
販路拡大事務費	直接	・首都圏等への販路拡大業務旅費等		235	165	235
		合計		499	336	499

事業コスト	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算			499	499
	補正予算				
	合計(A)	0	0	499	499
	国庫支出金				
	県債				
	その他(繰入金)			499	499
	一般財源	0	0	0	0
	決算額(B)	0	0	336	
概算職員数(人)			0.30	0.20	
概算人件費			2,477	1,652	
概算事業費(B(A)+C)	0	0	2,813	2,151	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
認証するCO2固定量	500t-CO2	500t-CO2	500t-CO2	達成	1000t-CO2

目標に対する成果の状況	平成24年4月から長野県産材CO2固定量認証制度(EOCO)がスタートし、木材利用によるCO2固定という地球温暖化防止の認識が徐々に普及してきた。認証件数は平成24年度と平成25年度は横ばいで推移している。地球温暖化防止の観点から、今後も普及啓発が必要である。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 長野県産材を使用して建築した個人住宅や、事務所・店舗等の木質化した企業等に対し、木材が固定するCO2の固定量を表示した認証書を県が発行し評価することで、木材を使うことが地球温暖化防止や森林整備に貢献することを広くPRし、県民の環境への関心を高めるとともに、県産材の消費拡大を図っていく。
--------------------	--